

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第12週（3月17日～3月23日）

★お知らせ

○インフルエンザに注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の 19.02 から 17.13 とやや減少しましたが、県全域では引き続き注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザ A 型 39%、B 型 61%となっており、今季初めて B 型の割合が A 型を上回りました。病原体定点の検体からはインフルエンザウイルス A 型、B 型両方が検出されており、両方に感染する可能性が考えられます。今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の 6.03 から 7.53 に増加しています。学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。感染を上げないために、排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で 1 分以上の加熱が必要です。

高知県ノロウイルス対策マニュアル ([URLhttp://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html))

厚生労働省ノロウイルスに関する Q & A (<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>)

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の 0.47 から 0.93 と約 2 倍に増加し、須崎福祉保健所管内では注意報値を超えています。この病気は、高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする細菌性の感染症で、通常 2～5 日の潜伏期間の後、38 度以上の発熱、咽頭痛、リンパ節の腫れ、嘔吐などが見られます。熱は 3～5 日以内に下がり、1 週間以内に症状は改善します。予防には、手洗い・うがいやマスクの着用等が有効です。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

| 疾病名 | 推移 | 定点当たり報告数 | 県内の傾向 |
|----------------|----|----------|--|
| インフルエンザ | → | 17.13 | 安芸、須崎で増加し、県全域及び高知市、幡多、中央西、安芸、須崎、中央東では注意報値を超えている。 |
| 感染性胃腸炎 | ↗ | 7.53 | 中央西、高知市、幡多で増加し中央西では注意報値を超えている。 |
| 流行性耳下腺炎 | → | 1.87 | 中央西、中央東で増加し、中央西では注意報値を超えている。 |
| A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ↗ | 0.93 | 須崎、高知市、幡多、中央西で増加し、須崎では注意報値を超えている。 |
| 水痘 | → | 0.50 | 高知市で増加している。 |

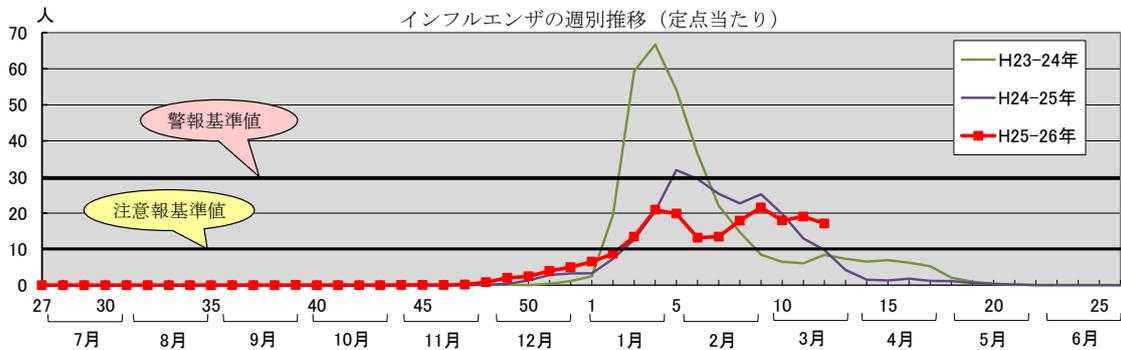
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

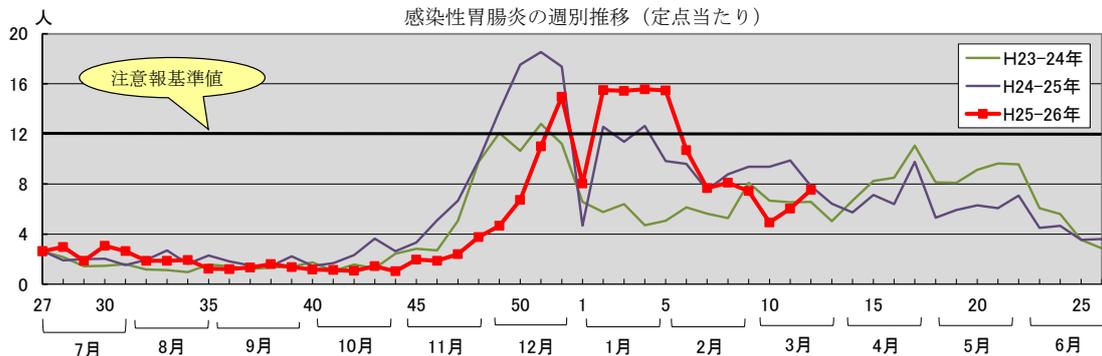
○インフルエンザ：17.13（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 17.13（前週：19.02）とやや減少しましたが、引き続き注意報値を超えています。地域別にみると、高知市（20.69：前週 20.63）安芸（16.00：前週 13.50）須崎（13.75：前週 9.50）で増加し、高知市、幡多（20.00：前週 23.00）中央西（19.20：前週 30.40）安芸、須崎、中央東（10.55：前週 14.09）では引き続き注意報値を超えています。病原体定点の検体からは Influenza virus AH1pdm09 が 6 例、Influenza virus A NT が 1 例、Influenza virus B NT が 3 例、Influenza virus B /Yamagata が 1 例検出されています。



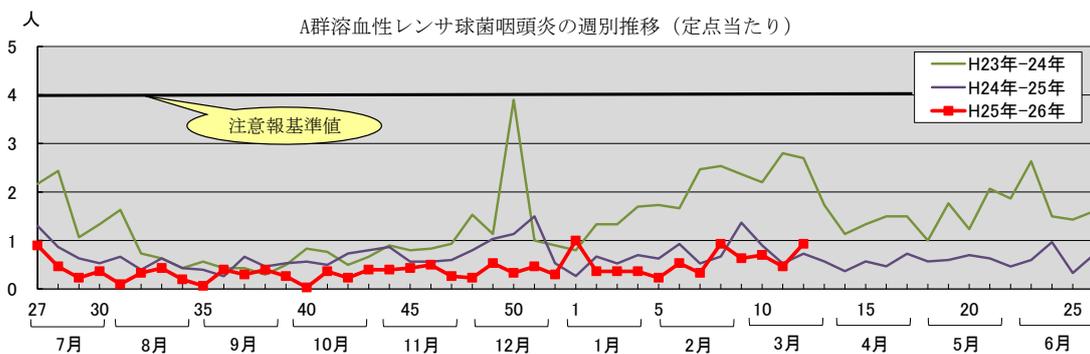
○感染性胃腸炎：7.53（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 7.53（前週：6.03）と増加しています。地域別にみると、中央西（13.33：前週 5.67）高知市（10.91：前週 8.09）幡多（8.20：前週 4.60）で増加し、中央西では注意報値を超えています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：0.93（注意報値：4.00 警報：8.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 0.93（前週：0.47）と倍増しています。地域別にみると、須崎（5.00：前週 2.50）高知市（1.09：前週 0.55）幡多（0.80：前週 0.40）中央西（0.67：前週 0.00）で増加し、須崎では注意報値を超えています。



★病原体検出情報

| 受付週 | 臨床診断名 | 年齢 | 性別 | 保健所 | ウイルス、細菌の検出状況 |
|-----|---------|------|----|-----|---------------------------|
| 12 | 肺炎 | 11ヶ月 | 女 | 中央東 | Human metapneumovirus |
| 12 | hMPV | 1 | 女 | 中央東 | Human metapneumovirus |
| 12 | 不明発疹症 | 4 | 女 | 須崎 | Human metapneumovirus |
| 12 | インフルエンザ | 3 | 女 | 高知市 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 9 | 女 | 高知市 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 5 | 女 | 中央東 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 2 | 女 | 中央西 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 2 | 男 | 須崎 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 3 | 男 | 中央西 | Influenza virus A H1pdm09 |
| 12 | インフルエンザ | 45 | 女 | 中央東 | Influenza virus A H3 NT |
| 12 | インフルエンザ | 10 | 男 | 高知市 | Influenza virus B NT |
| 12 | インフルエンザ | 6 | 女 | 中央東 | Influenza virus B NT |
| 12 | インフルエンザ | 46 | 男 | 須崎 | Influenza virus B NT |
| 12 | 気管支炎 | 1ヶ月 | 男 | 高知市 | Rhinovirus |

前週以前に搬入

| 受付週 | 臨床診断名 | 年齢 | 性別 | 保健所 | ウイルス、細菌の検出状況 |
|-----|---------|-----|----|-----|-----------------------------|
| 11 | 肺炎 | 7ヶ月 | 男 | 幡多 | Human metapneumovirus |
| 11 | インフルエンザ | 4 | 女 | 高知市 | Influenza virus B/Yamagata※ |
| 11 | 気管支炎 | 1 | 女 | 中央東 | Rhinovirus |

※11週に受付し、PCR検査で検出したものを分離培養したものです。

★定点医療機関からのホット情報

| 保健所 | 医療機関 | 情報 |
|-----|---------------|---|
| 中央東 | あけぼの小児科クリニック | インフルエンザ 19例 (A型 5例、B型 13例) ロタウイルス胃腸炎 1例 (1歳) hMPV 感染症 1例 (4歳) |
| | JA 高知病院小児科 | おたふく 1例 (3歳男：南国市) |
| | 野市中央病院小児科 | インフルエンザ B型 12例 (ワクチン接種済み 5例：7歳男 2人、8歳女 2人、9歳男 ワクチン未接種 7例：7、10歳男 2人ずつ、8歳女、14歳男女) |
| | 早明浦病院小児科 | 帯状疱疹 1例 (5歳男) インフルエンザ B型 2例 (6、10歳) 流行性耳下腺炎 4例 (4、13歳男、3、38歳女) |
| | いちはら内科小児科 | インフルエンザ 24例 (A型 6例、B型 18例) |
| 高知市 | けら小児科・アレルギー科 | 11w カンピロバクター腸炎 1例 (91歳女) アデノウイルス扁桃炎 1例 (3歳男) マイコプラズマ肺炎 3例 (3歳女、4、5歳男：迅速診断陽性) |
| | 高知医療センター小児科 | ノロウイルス 1例 (1歳男) ロタウイルス 1例 (1歳女) |
| | 福井小児科・内科・循環器科 | インフルエンザ 19例 (A型 3例、B型 16例) |
| | 細木病院小児科 | ノロウイルス 1例 (6歳女) |
| | 国立病院機構高知病院小児科 | 感染性胃腸炎 1例 (10ヶ月男：ロタウイルス罹患) |
| 中央西 | くぼたこどもクリニック | インフルエンザ B型 1例 (13歳男：須崎市) |
| 須崎 | もりはた小児科 | インフルエンザ 19例 (A型 6例、内 3例 AH1、B型 13例) |
| 幡多 | さたけ小児科 | アデノウイルス感染症 1例 (3歳女) 帯状疱疹 1例 (11歳男) インフルエンザ 81例 (A型 17例、B型 64例) 小中学校で流行 |
| | 幡多けんみん病院小児科 | ノロ陽性 1例 (3歳女) |
| | 松谷内科 | 溶連菌感染症 2例 (39歳女、54歳男：咽頭ぬぐい液ストレップ A 陽性) |

★全国情報

第10週 (3/3～3/9)

- 1類感染症：報告なし
 - 2類感染症：結核367例
 - 3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症5例、腸チフス2例
 - 4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎48例、重症熱性血小板減少症候群1例、ブルセラ症1例
ボツリヌス症1例、レジオネラ症14例
 - 5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎8例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群23例、ジアルジア症1例、侵襲性
インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症20例
梅毒14例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん6例、麻しん23例
- 報告遅れ：E型肝炎2例、急性脳炎5例

★A型肝炎 (2014年3月13日現在)

2014年のA型肝炎の報告数は、第3週以降急増している（IDWR感染症週報2014年第7号参照）。3月13日までは177例で、過去3年のそれぞれの年間報告数（2011年176例、2012年157例、2013年128例）を超えていた。報告は28都府県から行われ、10例以上の集積は鹿児島県（21例）、大阪府（20例）、福岡県（20例）、宮城県（15例）、広島県（14例）、宮崎県（10例）で認められた。直近（2月17日～3月13日）の都道府県別報告数の分布から、流行は東北から西日本に移っている。

3月13日までに報告された2014年の177例の、年齢中央値は52歳（範囲：0～93歳）で、年齢階級別では60～69歳が47例（27%）と最も多く、次いで50～59歳が38例（21%）であった。性別は男性が99例（56%）、女性が78例（44%）で、国内が推定または確定感染地域として報告された症例が163例（92%）であった。国外が推定感染地域として報告された症例は13例（カンボジア、パキスタン、フィリピン各2例、インドネシア、エチオピア、韓国、カンボジアまたはタイ、タイ、米国、モロッコ各1例）であった。1例は感染地域不明であった。劇症肝炎の報告が1例あり、死亡例の報告はなかった。感染経路は、経口感染が推定された149例（84%）のうち、24例（16%）で生カキ、2例（1%）で生ホタテ、8例（5%）で刺身を喫食したとの記載があった。診断方法は、177例中175例（99%）が血清IgM抗体検査によるもので、2例（1%）はPCR法によるウイルス検出、19例（11%）では血清IgM抗体検査およびPCR法によるウイルス検出が行われた。遺伝子型別は、感染症発生動向調査（3月13日現在）および病原微生物検出情報（3月14日現在）の情報を合わせると38例に行われていることが判明した。内訳はIAが21例、IIIAが15例、IBが2例であった。IAは大阪府9例、福岡県5例、宮城県、和歌山県各2例、埼玉県、新潟県、山口県各1例、IIIAは宮城県9例、山形県3例、東京都、大阪府、福岡県各1例、IBは東京都2例から報告された。

A型肝炎はA型肝炎ウイルス（HAV）による疾患で、一過性の急性肝炎をきたす。2～7週間の潜伏期間ののち、発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心・嘔吐、黄疸などの症状を起こす。特異的治療はなく、治療法は安静や対症療法が中心であるが、多くは1～2カ月の経過で回復し慢性化しない。まれに劇症化（0.1%）して死亡することがある。治癒後には強い免疫が残される。小児では不顕性感染が80～95%と多いため、時に無症状のまま、集団発生の感染源となることもある。一方、成人では顕性感染が75～90%と多い。通常、年齢が上がるに従い、重症度も上昇し、A型肝炎の症例全体の致死率は0.1%以下であるが、50歳以上では2.7%に達する。2003年に実施された血清疫学調査の抗A型肝炎ウイルス抗体保有率から推測すると、現在の55歳未満のほとんど全員が免疫を持っていないと考えられる。したがって、今後急速な高齢化が予測されるわが国では、A型肝炎の症例数および重症例の増加が懸念される。HAVは糞便中に排泄され糞口感染によって伝播する。国内の感染経路としては、魚介類の生食などによる経口感染や、性的接触などが報告されている。

A型肝炎は潜伏期が長いことから、聞き取りによる食材などの感染源についての調査は非常に困難である。2014年に入ってからの例年を超える報告数の増加に対して、現時点で広域に分布する患者発生を共通の感染源として説明しうる情報は収集出来ていないが、広域散発の集団発生の可能性も含めて感染源の共通性を検討する必要がある。我が国でA型肝炎の診断は、ほとんどの場合血清IgM抗体検査が行われているが、感染源の共通性の検討には、ウイルス学的検査による分子疫学的手法を用いた方法による確認が非常に有用である。我が国のA型肝炎の遺伝子型はIAが主流であるが、2010年に複数の自治体でIIIAが報告された。また、海外でも2009年にIIIAのアウトブレイクが報告されている。2014年、一部自治体で積極的疫学調査として行われている遺伝子検査は、全国的には自治体あたりの患者数が少ないためあまり実施されていない状況である。なお、地方衛生研究所より国立感染症研究所ウイルス第二部へウイルス解析の依頼とともに検体送付があれば遺伝子検査の実施は可能である。

医療機関においては、問診などによりできる限り具体的な情報を収集し、その後の保健所等の調査に繋げることが望まれる。保健所、地方衛生研究所等においては、医療機関と連携して個々の事例の原因究明にあたり、食材・食品の広域流通という観点も併せ、ウイルス学的検査の実施を含めた事例調査と対策における広域の連携が、対策上重要であると考えられる。

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第12週 平成26年3月17日(月)～平成26年3月23日(日)

高知県衛生研究所

| 定点名 | 疾病名 | 保健所 | 第12週 | | | | | 計 | 前週 | 全国(11週) | 高知県(12週末累計) | | 全国(11週末累計) | |
|--------------|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------------|--------------|----------------|------------------|--------------------|---------------------|--|
| | | | 安芸 | 中央東 | 高知市 | 中央西 | 須崎 | | | | 幡多 | H25/12/30～H26/3/23 | H25/12/30～H26/3/16 | |
| インフルエンザ | インフルエンザ | | 64 | 116 | 331 | 96 | 55 | 160 | 822 (17.13) | 913 (19.02) | 112,833 (22.79) | 9,094 (189.46) | 1,186,120 (241.18) | |
| 小児科 | 咽頭結核熱 | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 6 (0.20) | 5 (0.17) | 1,024 (0.32) | 61 (2.03) | 12,953 (4.14) | |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | | | 12 | 2 | 10 | 4 | 28 (0.93) | 14 (0.47) | 6,773 (2.15) | 206 (6.87) | 65,390 (20.88) | |
| | 感染性胃腸炎 | 4 | 17 | 120 | 40 | 4 | 41 | 226 (7.53) | 181 (6.03) | 21,243 (6.74) | 3,672 (122.40) | 280,332 (89.53) | | |
| | 水痘 | 3 | 3 | 6 | | | 3 | 15 (0.50) | 13 (0.43) | 3,013 (0.96) | 362 (12.07) | 41,443 (13.24) | | |
| | 手足口病 | | | | | | | () | () | 278 (0.09) | 11 (0.37) | 3,300 (1.05) | | |
| | 伝染性紅斑 | | | | | | | () | 3 (0.10) | 406 (0.13) | 10 (0.33) | 3,707 (1.18) | | |
| | 突発性発疹 | | | 5 | | 1 | 1 | 7 (0.23) | 12 (0.40) | 1,328 (0.42) | 114 (3.80) | 13,993 (4.47) | | |
| | 百日咳 | | | | | | | () | () | 26 (0.01) | 2 (0.07) | 273 (0.09) | | |
| | ヘルパンギーナ | | | | | | | () | () | 61 (0.02) | 1 (0.03) | 556 (0.18) | | |
| | 流行性耳下腺炎 | | 15 | 24 | 9 | 4 | 4 | 56 (1.87) | 54 (1.80) | 720 (0.23) | 542 (18.07) | 7,578 (2.42) | | |
| RSウイルス感染症 | | | | | | 3 | 3 (0.10) | 6 (0.20) | 778 (0.25) | 256 (8.53) | 16,966 (5.42) | | | |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | | | | | | () | () | 14 (0.02) | () | 84 (0.12) | | |
| | 流行性角結膜炎 | | | 1 | | | | 1 (0.33) | 1 (0.33) | 349 (0.51) | 6 (2.00) | 3,949 (5.83) | | |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | | | | | | | () | () | 11 (0.02) | 3 (0.38) | 84 (0.18) | | |
| | 無菌性髄膜炎 | | | 1 | | | | 1 (0.13) | () | 20 (0.04) | 5 (0.63) | 159 (0.34) | | |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 2 | | | | | 2 (0.25) | 5 (0.63) | 100 (0.21) | 32 (4.00) | 1,142 (2.42) | | |
| | クラミジア肺炎(オウム病は除く) | | | 1 | | | | 1 (0.13) | () | 4 (0.01) | 3 (0.38) | 93 (0.20) | | |
| | 感染性胃腸炎 | | | 2 | | | | 2 (0.25) | () | 87 (0.18) | 18 (2.25) | 685 (1.45) | | |
| 計 | | 71 | 153 | 504 | 148 | 75 | 219 | 1,170 | | 149,068 | 14,398 | 1,638,807 | | |
| (小児科定点当たり人数) | | (19.50) | (15.55) | (35.96) | (36.53) | (23.75) | (31.80) | (28.49) | | | (364.03) | | | |
| 前週 | | 71 | 200 | 471 | 179 | 60 | 226 | | 1,207 | | | | | |
| (小児科定点当たり人数) | | (22.00) | (20.24) | (33.09) | (39.40) | (20.50) | (31.40) | | (28.62) | | | | | |

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

| 定点名 | 疾病名 | 保健所 | 第12週 | | | | | 計 | 前週 | 全国(11週) | 高知県(12週末累計) | | 全国(11週末累計) | |
|--------------|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-------------|--------------------|--------------------|--|
| | | | 安芸 | 中央東 | 高知市 | 中央西 | 須崎 | | | | 幡多 | H25/12/30～H26/3/23 | H25/12/30～H26/3/16 | |
| インフルエンザ | インフルエンザ | | 16.00 | 10.55 | 20.69 | 19.20 | 13.75 | 20.00 | 17.13 | 19.02 | 22.79 | 189.46 | 241.18 | |
| 小児科 | 咽頭結核熱 | | | | 0.09 | 0.33 | 0.50 | 0.60 | 0.20 | 0.17 | 0.32 | 2.03 | 4.14 | |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | | | 1.09 | 0.67 | 5.00 | 0.80 | 0.93 | 0.47 | 2.15 | 6.87 | 20.88 | |
| | 感染性胃腸炎 | 2.00 | 2.43 | 10.91 | 13.33 | 2.00 | 8.20 | 7.53 | 6.03 | 6.74 | 122.40 | 89.53 | | |
| | 水痘 | 1.50 | 0.43 | 0.55 | | | 0.60 | 0.50 | 0.43 | 0.96 | 12.07 | 13.24 | | |
| | 手足口病 | | | | | | | | | 0.09 | 0.37 | 1.05 | | |
| | 伝染性紅斑 | | | | | | | | | 0.10 | 0.13 | 0.33 | 1.18 | |
| | 突発性発疹 | | | 0.45 | | 0.50 | 0.20 | 0.23 | 0.40 | 0.42 | 3.80 | 4.47 | | |
| | 百日咳 | | | | | | | | | 0.01 | 0.07 | 0.09 | | |
| | ヘルパンギーナ | | | | | | | | | 0.02 | 0.03 | 0.18 | | |
| | 流行性耳下腺炎 | | 2.14 | 2.18 | 3.00 | 2.00 | 0.80 | 1.87 | 1.80 | 0.23 | 18.07 | 2.42 | | |
| RSウイルス感染症 | | | | | | 0.60 | 0.10 | 0.20 | 0.25 | 8.53 | 5.42 | | | |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | 0.02 | | 0.12 | | |
| | 流行性角結膜炎 | | | 1.00 | | | | 0.33 | 0.33 | 0.51 | 2.00 | 5.83 | | |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | | | | | | | | | 0.02 | 0.38 | 0.18 | | |
| | 無菌性髄膜炎 | | | 0.20 | | | | 0.13 | | 0.04 | 0.63 | 0.34 | | |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 2.00 | | | | | 0.25 | 0.63 | 0.21 | 4.00 | 2.42 | | |
| | クラミジア肺炎(オウム病は除く) | | | 0.20 | | | | 0.13 | | 0.01 | 0.38 | 0.20 | | |
| | 感染性胃腸炎 | | | 0.40 | | | | 0.25 | | 0.18 | 2.25 | 1.45 | | |
| 計 | | 19.50 | 15.55 | 35.96 | 36.53 | 23.75 | 31.80 | 28.49 | | | 364.03 | | | |
| (小児科定点当たり人数) | | (19.50) | (15.55) | (35.96) | (36.53) | (23.75) | (31.80) | (28.49) | | | (364.03) | | | |
| 前週 | | 22.00 | 20.24 | 33.09 | 39.40 | 20.50 | 31.40 | | 28.62 | | | | | |
| (小児科定点当たり人数) | | (22.00) | (20.24) | (33.09) | (39.40) | (20.50) | (31.40) | | (28.62) | | | | | |

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869